

第14回滋賀県首長会議テーマ一覧

整理番号	テーマ名	提案団体
1	地域経済活性化のための今後の観光振興について	滋賀県
2	大規模な自然災害への備えと今後の対応について	米原市 滋賀県
3	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について	湖南市

第14回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
----------	------------------------

1.地域経済活性化のための今後の観光振興について

滋 賀 県	<p>県では、平成31年3月に「『健康しが』ツーリズムビジョン2022」を策定し、「交流人口を拡大するとともに、観光消費の増加につなげる」を基本目標に、延観光入込客数6,000万人、宿泊者数450万人、観光消費額1,700億円の数値目標を掲げている。</p> <p>本県の平成30年の延観光入込客数は、5,253万6千人と過去最高を更新したが、日帰り客の割合が9割を超えており、宿泊・滞在型観光の推進などを通じて観光消費額を増やすことが課題である。</p> <p>令和元年から2年にかけて、NHKの連続テレビ小説「スカーレット」や大河ドラマ「麒麟がくる」の放送効果を県内各地に波及させるため、「ほっと滋賀色」と「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」の2つの観光キャンペーンを各市町、観光協会、事業者の皆様とともに展開していて、今後、番組放送による誘客効果を一過性のものに終わらせないための取組が必要である。</p> <p>また、令和元年11月に「ピワイチ」がナショナルサイクルルートに指定されたことから、更に多くの国内外からの観光客にピワイチの魅力を体験してもらえるよう、琵琶湖の周辺市に加え、県内全市町を網羅するピワイチ・プラスと合わせ、県内全域で「ピワイチ」ブランドをさらに磨き上げ、情報発信や環境整備の取組が必要である。</p> <p>さらに「ここ滋賀」に加え、「そこ滋賀」により京都から外国人観光客の誘客に取組んでいるが、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西、大阪・関西万博と、今後数年にわたり外国人観光客を呼び込む大きなチャンスが到来する。</p> <p>こうした千載一遇の機会を最大限に生かして、ビジョン目標値の達成前倒しを図り、地域振興、地域経済の活性化につなげたいと考えていることから、例えば、次の点について議論してはどうか。</p> <p><観光消費額を増やす視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の観光地を繋ぐ周遊コースの開発や交通利便性の向上 ・夜型、朝型サービス展開など滞在型観光の推進 ・日本遺産、ロケーションツーリズムの展開 など <p><インバウンド誘客を促進する視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・WMGIにおける地域間連携した観光プログラムの造成 ・ここ滋賀、そこ滋賀の活用 ・観光素材（自然環境、風景、歴史文化遺産、伝統工芸、食等）の磨き上げ ・観光案内板等の整備、更新、多言語化 など <p><ピワイチを活かす、磨き上げる視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における安全な走行環境確保のためのハード、ソフトの取組 ・地域独自のイベントの開催 ・地域におけるおもてなしサービスの向上 ・市町版活用推進計画の策定（県計画 R1.12策定予定） など
-------------	---

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
2.大規模な自然災害への備えと今後の対応について	
米 原 市	<p data-bbox="217 304 1452 353">大型化する台風による自然災害への備えについて</p> <p data-bbox="217 398 1452 521">・本年度、地球温暖化による大型化する台風の影響により、東日本を中心に多くの生命と財産が失われ、被災者の生活再建が長期化している。 滋賀県においても他人事ではなく、ハードとソフトが一体となった治水対策が急務である。</p> <p data-bbox="217 577 1452 656">① 県下各市町において災害支援を行ったと思われるが、各市町の取組の状況や災害支援の結果などについて情報共有してほしい。</p> <p data-bbox="217 712 1452 790">② 災害の備えに関して、日常の防災意識の啓発や備えが必要となるため、各市町の先進的な取組内容があれば、共有してほしい。</p> <p data-bbox="217 846 1452 925">③ 河川整備に関して、現在の滋賀県における河川改修計画の状況（変更計画を含む）について情報共有を図ってほしい。また、県内の上水施設に関する浸水対策の状況を共有してほしい。</p>
滋 賀 県	<p data-bbox="217 981 1452 1030">今年度の大規模災害（台風15号、台風19号等）を踏まえた教訓と今後の対応について</p> <p data-bbox="217 1075 1452 1238">○ 昨年度発生した大阪北部地震や西日本豪雨、台風21号、竜巻災害などの災害からは、多くの教訓が得られており、ブロック塀の安全点検や帰宅困難者対策、洪水時のダム管理、農業用ため池対策、電力事業者との停電対策、鉄道の計画運休等への対応など、県では全庁を挙げて必要な点検を行い、災害対応を見直してきたところ。</p> <p data-bbox="217 1294 1452 1417">○ 本年も多く災害が発生しており、9月の台風第15号は、千葉県などで大規模停電をもたらし、10月の台風第19号では、13都県に大雨特別警報が発令され、関東甲信地方から東北地方にかけて記録的な大雨とともに、多くの河川での決壊や越水などによる浸水被害、土砂災害など、甚大な被害が発生した。</p> <p data-bbox="217 1462 1452 1585">○ 本年のこうした災害からは、災害時における住民への情報提供のあり方や、発災当初の情報の空白域における対応、災害リスク情報の周知、適切な避難行動、要配慮者への支援、災害廃棄物対策など、様々な課題が浮き彫りになってきている。</p> <p data-bbox="217 1630 1452 1709">○ 災害教訓から得られる課題認識の共有化を図るとともに、新たな課題への対応策について、県と市町の防災対策上の役割も踏まえながら意見交換を行いたい。</p>

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
3.高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について	
湖 南 市	<p>厚生労働省の平成27年都道府県別生命表によれば、滋賀県の男性の平均寿命は全国1位、女性の平均寿命は全国4位となり、厚生労働科学研究の客観的指標では平成28年の滋賀県の男性の健康寿命は全国2位、女性の健康寿命は全国3位、さらには、東京大学の研究では過去25年間の健康寿命が滋賀県は男女とも全国1位ということで、全国的に滋賀県の高齢者の健康寿命に対する注目が集まっている。</p> <p>一方、人生100年時代に向けて、高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせる社会としていくために、医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律が令和元年5月22日に公布され、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するための整備等が令和2年度から実施されることとされている。</p> <p>また、令和元年6月21日には、高齢者一人ひとりに対し、フレイルなどの心身の多様な課題に対応したきめ細やかな保健事業を行うため、運動、口腔、栄養、社会参加などの観点から市町村における保健事業と介護予防の一体的な実施を推進すると閣議決定された。</p> <p>そこで、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の施行に向けた体制整備等について、県および各市町においてどのような取り組みを進めてきたのか、今後どのように進めようとしているのかについて先進事例の情報を共有したい。また、市町を越えた広域の取り組みについての優良事例があれば参考にしたい。さらに、国民健康保険や後期高齢者医療保険という医療保険と介護保険との切れ目のない連携の進め方について、県および各市町の責任や役割分担についても意見を交換したい。</p>